

高齢者に靴の反射材を配布し交通事故を防止

～愛知県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施～

日本損害保険協会中部支部委員会(委員長:渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)では、愛知県警察本部と協力し、交通事故防止啓発チラシ4万枚を作成し、愛知県警察本部に寄贈しました。

そして、12月21日(日)に名古屋市千種区の覚王山日泰寺で、愛知県警察本部、千種警察署、中村警察署、千種区役所等と合同で反射材やLEDバンドの活用を呼びかける交通安全啓発活動を行いました。

愛知県内の交通事故による死者数は、12月17日現在で109人であり、そのうち65歳以上の高齢者の死者数は全体の約半数を占めています。また、歩行中死者の多くは視認性の悪い夕暮れ時に事故にあっています。

そこで、覚王山日泰寺の縁日に訪れる高齢者等に反射材とチラシを手渡し事故への注意を呼びかけました。

靴の反射材をもらった方からは、「去年もここで反射材をもらって貼った。散歩中に暗くなってくると危ないと思っているので、今年も靴に貼りたい。」などのコメントがありました。

また、当日はNHKのど自慢で優勝経験もあり演歌ポリスとして多くのイベントで交通安全啓発を行っている中村警察署の新記さんが交通安全を呼びかける歌を歌い、参拝者の喝さいを浴びていました。

当支部では、今後も愛知県警察本部等と連携して高齢者を中心とした交通事故防止に取り組んでいきます。



＜チラシ・反射材配布の様子＞



＜演歌ポリス新記さん熱唱の様子＞

＜交通事故防止チラシ＞